

各 位

| | |
|-------|--|
| 会 社 名 | 株式会社 スーパー大栄 |
| 代表者名 | 代表取締役社長 中山勝彦 |
| コード番号 | 9819 |
| 問合せ先 | 専務取締役管理本部長 小野博司 TEL (093) 602 - 2770 |

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、昨年 11月 24日の中間決算発表時に公表した平成13年3月期（平成12年4月1日～平成13年3月31日）の期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 13年3月期通期業績予想数値の修正（平成 12年 4月 1日 ～ 平成 13年 3月 31日）

(単位：百万円、%)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|----------------------------------|--------|------|-------|
| 前回発表予想(A) (平成 12年 11月 24日 発表) | 31,600 | 100 | 60 |
| 今回修正予想(B) | 30,928 | 75 | 152 |
| 増減額(B - A) | 672 | 25 | 92 |
| 増減率(%) | 2.1 | 25.0 | - |
| 前期(平成12年 3月期)実績 | 31,674 | 154 | 925 |

2. 修正の理由

(1) 当期におけるわが国経済は、情報技術関連業種を中心として、設備投資に回復がみられたものの昨年夏場以降の米国経済の失速等をうけて、輸出の落ち込みや生産活動が低迷に転じる等、景気指標はいつれも悪化の傾向を示して景況はきびしいまま推移いたしました。

当業界においても、雇用不安、個人消費の低迷が続くなか、大規模小売店舗立地法の施行前の集中出店、増床が相次ぎ企業間の競合は一層熾烈さを加え優勝劣敗が、きわだってまいりました。

今期は、新規出店3店舗及び4店舗の改装を実施し競争力の強化につとめ、一方では、不採算店舗の2店舗を閉鎖し、経営効率の改善に努めましたものの、既存店の業績が振るわなかった為、前回発表予想を売上高は、6億7千2百万円(2.1%減)減少し、3億9千2百万円(前年同期比2.4%減)に、経常利益は、2千5百万円(25%減)減少し、7千5百万円(前年同期比50.9%減)に、当期損益は、急逝した役員の退職金1億2千8百万円及び下記(2)の特別損失が発生した為、1億5千2百万円の当期純損失となりますので、業績予想を修正いたします。

(2)特別損失、追加発生

| | | |
|---------------|--------|------------------|
| 過年度役員退職慰労金引当 | 65百万円 | (当会計年度より会計処理の変更) |
| (当期分、一般管理費計上) | 10百万円) | |
| 有価証券強制評価減 | 42百万円 | (時価会計導入によるもの) |

以 上